**地盤通信**

URL: https://www.juhinkyo.jp/ E-mail: info2@juhinkyo.jp

〒113-0034　文京区湯島4-6-12湯島ﾊｲﾀｳﾝB-222

Tel：03-3830-9823　Fax：03-3830-9852

事務局

**NPO住宅地盤品質協会**

**VOL．299（2018／11／7）**

**）**

**締切　12月14日（土）**

SWS試験方法のJIS改正に伴うアンケートのお願い

NPO住宅地盤品質協会

技術委員長 大石 学

平素は格別のお引き立てを賜わり、厚くお礼を申し上げます。

現在、公益社団法人地盤工学会が主催となり、SWS試験方法のJIS改正作業が進んでおります。現行JISの問題点の解消と2017年制定の「ISO 22476-10:2017 Weight sounding test」への対応が、主な改正作業となります。そこで、SWS試験における現状の把握と問題点を整理するため、アンケート調査の協力依頼が当協会へ来ております。

SWS試験は、日本で最も行われている地盤調査方法であるため、JIS改正に伴う影響は大きいものと思われます。つきましては、日頃からSWS試験を行われている協会員様からのご意見は、非常に貴重なものであり、改正作業の参考にされることと思います。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、添付アンケートへの御協力をお願い申し上げます。

**アンケート提出期限**、**12月14日（金）**

提出方法につきましては、下記に示しますメールもしくはFAXにてお願い致します。御多忙とは存じますが、何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【提出方法】

次ページのアンケート（2枚）に回答を記入し、メール添付またはFAXにて送付願います。

※住品協ホームページ「更新情報」からword版がダウンロードできます。

【提出先】

**メールの場合：info2@juhinkyo.jp**

**FAXの場合：03-3830-9852**

問い合わせ先：住宅地盤品質協会 事務局　安西　TEL:03-3830-9823

**SWS試験方法のJIS改正に伴うアンケートのお願い**

【記入の上、このままFAX（03-3830-9852）するか、メールにて送付願います】

　本年5月からSWS試験方法のJIS改正作業を始めています。現行JISの問題点の解消と2017年制定の「ISO 22476-10:2017 Weight sounding test」に対応した改正を行う予定です（詳しくは地盤工学会誌2018年9月号を参照下さい）。この改正作業を機に，現状のSWS試験の試験機，試験方法についてアンケート調査を行い，JIS規格に反映させたいと考えています。

　以下のアンケートにご協力いただきますよう，よろしくお願い申し上げます。

SWS試験方法JIS改正WGリーダー　大島昭彦

1. 貴社にて保有されているSWS試験機についてご回答ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 調査機の種類 | 計測可能な最小*Wsw* （N） | 製造メーカー/規格 | 保有台数 |
| 例 | 手動・半自動・全自動 | 50･150･250･500･750･1000 | 　㈱地盤計器 / GT-Ⅱ | 5台 |
| 1 | 手動・半自動・全自動 | 50･150･250･500･750･1000 | 　 | 台 |
| 2 | 手動・半自動・全自動 | 50･150･250･500･750･1000 | 　 | 台 |
| 3 | 手動・半自動・全自動 | 50･150･250･500･750･1000 | 　 | 台 |
| 4 | 手動・半自動・全自動 | 50･150･250･500･750･1000 | 　 | 台 |
| 5 | 手動・半自動・全自動 | 50･150･250･500･750･1000 | 　 | 台 |
| 合計 | 台 |

1. 使用されているスクリューポイントについてご回答ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | 　スクリューポイントの材質（規格,種類）　 | 　鋼材の追加処理　 | 製造メーカー |
| 例 | JIS G4051，S50C等 | 焼き入れ有り等 | ㈱地盤鋼材 |
| 1 | 　 | 　 | 　 |
| 2 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 　 | 　 | 　 |

1. 使用されているロッドについてご回答ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | ロッドの材質（規格,種類） | 鋼材の追加処理 | 製造メーカー |
| 例 | JIS G4051，S50C等 | 焼き入れ有り等 | ㈱地盤鋼材 |
| 1 | 　 | 　 | 　 |
| 2 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 　 | 　 | 　 |

1. スクリューポイントを交換するタイミングは、どのタイミングですか？
該当部分の回答欄に“○”を付けてください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 回答欄 |
| ｲ. | 最大径が32mmになったとき。（摩耗1mm） |  |
| ﾛ. | 最大径が31mmになったとき。（摩耗2mm） |  |
| ﾊ. | 最大径が30mmになったとき。（摩耗3mm） |  |
| ﾆ. | スクリューポイントの長さが10mm短くなったとき。 |  |
| ﾎ. | スクリューポイントの長さが15mm短くなったとき。 |  |
| ﾍ. | その他 |  |

「ヘ．その他」に回答された方は、交換するタイミングについてご回答をお願いします。

1. ロッドを交換するタイミングは、どのタイミングですか？
該当部分の回答欄に“○”を付けてください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 回答欄 |
| ｲ. | 一定期間または一定現場数ごとに交換 |  |
| ﾛ. | 直線性が損なわれたとき |  |
| ﾊ. | ジョイント部分が破損したとき |  |
| ﾆ. | その他 |  |

イ．に回答された方は、その期間または現場数等についてご回答ください。

　　（　　　　か月），（　　　　　年），（　　　　　現場），

ロ．に回答された方は、直線性の判断方法についてご回答ください。

ニ．その他にチェックされた方は、その判断方法についてご回答ください。

1. １．にて全自動調査機を保有されている方への問いです。荷重制御の点検を含めた定期点検は、どの程度のスパンで行っていますか？　該当部分の回答欄に“○”を付けてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | 回答欄 | 　 | 回答欄 |
| ｲ. | 1ヶ月 |  | ﾆ. | 1年 |  |
| ﾛ. | 3ヶ月 |  | ﾎ. | 2年 |  |
| ﾊ. | 6ヶ月 |  | ﾍ. | 実施しない |  |

1. １．にて全自動調査機を保有されている方への問いです。荷重制御の点検を含めた定期点検は、どこで行われていますか？　該当する回答欄に記入願います。（ ﾛ. については“○”）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 回答欄 |
| ｲ. | 製造メーカー | （メーカー名：　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ﾛ. | 自社による点検 |  |
| ﾊ. | 他機関による点検 | （機関名：　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

1. JIS改正に伴い、ご要望、ご意見並びに問題点等がありましたらご記入お願いします。

以上、アンケートにご協力を頂きまして誠にありがとうございます。